

1984年度 水理実験センター施設利用状況

| | 教 育 関 係 | 研 究 関 係 |
|-----|--|---|
| 学 群 | 1. 気候学、気象学実験受講者 7人×1回=7人 2. 地形営力論実験受講者 11人×3回=33人 3. 地形営力論実験受講者 11人×6回=66人 4. 水文学実験受講者 7人×2回=14人 5. 農学実験受講者 14人×3回=42人 6. 農業気象学実習受講者 38人×1回=38人 小 計 200人 | 卒業研究等利用者 自然学類 4人 4ヶ月～12ヶ月 小 計 4人 |
| 大学院 | 7. 基礎地学（教育研究科）受講者 5人×1回=5人 8. 水収支論研究法受講者 10人×20回=200人 小 計 205人 | 地球科学研究科 6人 4ヶ月～12ヶ月 環境科学研究科 1人 5ヶ月 理工学研究科 1人 12ヶ月 小 計 8人 |
| 教職員 | 1.～8.の指導 小 計 8人 | |
| その他 | 1. 研究会・シンポジウム共同研究等 ・水文学研究会研究集会 (7人×2回=14人) ・千葉大学理学部野外実習 (11人×1回=11人) 小 計 25人 2. 工作室利用者延人数 108人 3. 測器・資料・施設等利用者 77人 4. 見 学 者 ・国 内 者 (73人) ・国 外 者 (58人) 小 計 131人 ・国際生気象学会 (6人) ・南京水利科学研究院科学研究管理考察団 (7人) ・中国科学院南京地理研究所 (5人) ・中国科学院長春地理研究所 (5人) ・中国地理学会 (4人) ・中国四川省地理学会 (5人) ・中国水利灌溉視察訪日団 (9人) ・そ の 他 カナダ (2人)、オランダ (1人)、アメリカ (2人)、 ハンガリー (2人)、韓 国 (4人)、インド (3人)、 イタリア (1人)、ネパール (1人)、スイス (1人) | 小 計 756人 |
| | 総 計 | 756人 |

主 な 行 事

| 年 月 日 | 記 事 |
|---------------|----------------------------------|
| 1984. 4. 1 | 水田陽子事務官地球科学系より配置換 |
| 4. 1 | 山下孔二技官, 伊勢屋ふじこ技官着任 |
| 4. 26 | 昭和60年度概算要求書提出 |
| 5. 1~ 6. 1 | 井口正男教授センター長事務代理 |
| 6. 27 | 昭和59年度第1回運営委員会開催 |
| 8. 1 | 国際生気象学会関係一行センター施設見学 6名 |
| 8. 14~ 9. 11 | 井口正男教授センター長事務代理 |
| 8. 22 | 南京水利科学研究院科学研究管理考察団一行センター施設見学 7名 |
| 8. 24 | 中国科学院南京地理研究所一行センター施設見学 5名 |
| 9. 29 | 長春地理研究所一行センター施設見学 5名 |
| 10. 1 | 昭和59年度特定研究経費が配分 |
| 10. 1 | 中川慎治技官気象庁観測部管理課に転出 |
| 10. 6 | 中国地理学会一行センター施設見学 4名 |
| 10. 6 | 四川省地理学会一行センター施設見学 5名 |
| 10. 25 | 水理実験センター報告第8号発行 |
| 10. 25~11. 15 | 井口正男教授センター長事務代理 |
| 11. 25~12. 23 | 井口正男教授センター長事務代理 |
| 11. 29 | 中国水利灌溉視察訪日団一行センター施設見学 9名 |
| 11. 29 | 千葉大学理学部一行センター施設見学 11名 |
| 11. 30 | 筑波大学事務局一行センター施設見学 12名 |
| 1985. 1. 11 | 昭和61年度概算要求書提出 |
| 2. 1~ 2. 10 | 井口正男教授センター長事務代理 |
| 2. 22 | 昭和59年度水理実験センター年次研究報告会開催 (発表数 32) |
| 2. 26 | 昭和59年度第2回運営委員会開催 |
| 3. 30 | ERC Papers No. 6, No. 7 発行 |
| 4. 1 | 近藤昭彦技官着任 |

Environmental Research Center Papers

- No. 1 (1982) Kenji KAI : Statistical characteristics of turbulence and the budget of turbulent energy in the surface boundary layer. 54p.
- No. 2 (1983) Hiroshi IKEDA : Experiments on bedload transport, bed forms, and sedimentary structures using fine gravel in the 4-meter-wide flume. 78p.
- No. 3 (1983) Yousay HAYASHI : Aerodynamical properties of an air layer affected by vegetation. 54p.
- No. 4 (1984) Shinji NAKAGAWA : Study on evapotranspiration from pasture. 87p.
- No. 5 (1984) Fujiko ISEYA : An experimental study of dune development and its effect on sediment suspension. 56p.
- No. 6 (1985) Akihiko KONDOH : Study on the groundwater flow system by environmental tritium in Ichihara region, Chiba Prefecture. 59p.
- No. 7 (1985) Chong Bum LEE : Modelling and climatological aspects of convective boundary layer. 63p.

筑波大学水理実験センター報告

第 9 号

1985年10月発行

編集発行 筑波大学水理実験センター
茨城県新治郡桜村
〒305 電話 0298-53-2532

印刷所 東日本印刷株式会社
茨城県新治郡桜村上ノ室 283-1
電話 0298-57-4141(代表)
